

英語科学習指導案

学 級：あ す な ろ 学 級

3年女子1人 計1人

場 所：特別支援学級教室

指導者：教諭 塩満 綾子

1 単元名 好きなものと嫌いなものを英語で発表しよう。

2 単元について

(1) 単元設定の理由

特別支援学級での英語活動としては、日常でよく使われる英語を中心に学習を進めてきた。英語科学習としては、「英語で簡単な自己紹介ができるようになる。」ということを年間目標においている。

単元設定の理由の1つ目としては、「簡単な英語を使って自己紹介ができるようになる」という年間目標から、簡単な英語であり、且つ身近な会話の中でよく使われる表現ということで”I like~.”, ”I don’t like~.”を使って自分の好き嫌いを言う活動を取り入れた。2つ目の理由として、本生徒は自分の思いや考えを言葉にして伝えることを苦手としている。一方、自分の好き嫌いがはっきりしているため、それを英語の学習に上手く取り入れることで、自分の思いや考えを言葉にする活動に結びつけたい。また、アニメーションや芸能などに興味を持っているので、その興味のあるものを取り入れた文の表現にするため、”I like~.”, ”I don’t like~.”という基本文を使うことにした。

(2) 生徒の実態

小学校高学年程度の学力である。勉強に対しては苦手意識を持っているが、分かる内容や問題であると積極的に取り組む姿が見られる。中学校の学習内容の理解は難しい。授業態度としては、真面目で教師側の指示に対してもしっかりと取り組むことができるが発表することに対する抵抗感が強い。また情緒面でも不安定な面がある。そのため、学習への取組に対しては集中力に欠ける部分も多く見られる。また苦手な内容や活動に関しては、取り組もうとはせずにそのまま動かなくなってしまうが、好きなアイドルやアニメーションのキャラクターなど、興味・関心のある教材を使いながら学習を進めていくと、集中して取り組もうとする。

英語学習における生徒の実態

- ・ 文字はとても丁寧に書こうとする。アルファベットは正確に書くことができる。
- ・ 少しではあるが、身近にある物（机や本等）を英語で言うことができる。曜日、月や数字等は毎時間の英語の授業で練習するので、よく覚えている。
- ・ 英単語の綴りは3文字ぐらいであれば覚えることができるがなかなか難しいため、視覚的に学習する方法を取り入れながら、繰り返し覚えさせることが必要である。

(3) 指導上の留意点

指導に当たっては、勉強に対して苦手意識をもっているため、絵カードは食べ物や色だけではなく、アニメーションのキャラクターなども取り入れることで生徒の興味・関心をもたせやすくし、学習に意欲をもって取り組めるようにする。好きなものを発表するときに、**best**を使った「私は～が1番好きです。」という言い方も取り入れながら発表できるようにする。また、授業の最後には発表した内容を英語でシートに書く活動をするので、語と語の区切りなどに注意して正しく英語の文を書く練習ができるようにする。英語での学習を通し、相手に伝えることができたという成功体験を味わわせるために、できるだけ授業の中に発表の場を多く取り入れるように心がける。また高校でALTと交流をする際に、中学校で習ったことを使いながら自己紹介ができるようにしたい。

3 単元の学習目標

- “I like ~.” “I don't like ~.”の意味や用法を理解することができる。
- 実際の物や絵カードなどを使いながら、自分のことを発表できる。
- 間違いを恐れずに、自分のことを相手に伝えることができる。

4 単元の指導計画（総時数6時間）

次	時	学習活動	言語活動（☆）
一	2	○ 動作を表す言葉を学習する。（ like, play, have, want, come, drive など）	☆ 動作を表す絵を見て、それを意味する英語を発表する。
二	2	○ 自分が好きなもの（こと）を伝える英語の表現を学習する。（ I like ~. ） ○ best を使って「私は～が1番好きです。」という表現を学習する。	☆ 自分の好きなものを“ I like~. ”を使って発表する。
三	1	○ 自分が嫌いなもの（こと）を伝える英語の表現を学習する。（ I don't like ~. ）	☆ 自分の嫌いなものを“ I don't like. ”を使って発表する。
四	1 （本時）	○ 好きなものと嫌いなものを絵カードから選び、英語で発表する。 ○ シートに発表内容を英語で書いてまとめる。	☆ 相手の発表を聞いて、内容を確認したり、自分のことを相手に伝えたりする。 ☆ シートにまとめる。

5 本時の実際（6 / 6）

(1) 学習目標

- “I like ~.”, “I don't like~.”をしっかりと使い分けることができる。
- 絵カードを使いながら、発表することができる。
- 間違いを恐れずに、自分の好きなものや嫌いなものを相手に伝えることができる。

(2) 展開

(☆：言語活動)

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考
導入	15分	1 英語で挨拶と日付調べをする。 2 前時までの学習を振りかえる。 3 学習課題を確認する。 好きなものと嫌いなものを英語で発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気の中で授業が進められるよう心掛ける。 ・ "I like ~.", "I don't like ~." を復習させる。(☆) 	プレゼンテーション使用
展開	40分	4 絵カードを確認する。 (1) カードに載っている絵を英語で言う。 (2) 教師の後に続けて発音する。 5 教師の発表を聞く。 6 教師の好きなものと嫌いなものは何かを確認する。 7 絵カードを使って,好きなものと嫌いなものを発表する。 8 絵カードを黒板に貼る。 9 シートに,自分が発表した内容を英語で書いてみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードを見せながら,英語を確認させる。(☆) ・ 英文が書かれたカードを準備し,教師が言った内容のカードを選ばせるようにする。 ・ 強く発音する部分は色分けをし,はっきりと分かるようにする。(☆) ・ 絵カードを見ることで,好き嫌いを確認しやすくする。 ・ 文の最初にくる単語の1文字目は大文字,単語と単語の間は1文字空けることを確認させるために黒板に書く際のポイントとして提示しておく。 	絵カード 絵カード "I like pink.", "I don't like pizza."などの英文が書かれたカード まとめのシート 書く際のポイントシート
終末	5分	9 今日の学習について振り返る。 10 次回の学習について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ シートに書いた内容を確認することで,学習内容を振り返ることができるようにする。 	絵カード